

施策項目 17 家庭教育支援の充実

[評価結果] 【担当課：社会教育課(義務教育課、生徒指導・学校安全課)】



担当課HP

総合評価	進展あり
-------------	-------------

定量評価 [指標]	C
-----------	---

指標	評点	(a)	(b)	(c)	(d)
	評価数	0	1	3	3
	d評価となった指標	②④⑤			

定性評価 [施策]	進展あり
-----------	------

各種施策の推進を通して、望ましい生活習慣の定着に向けて、全道14管内における研修事業や社会教育関係団体による全道規模のフォーラム事業を実施することで、保護者だけでなく地域住民や学校教育関係者に対して、子育てや家庭教育に関する学習機会を充実させることができた。また、家庭教育支援を組織で行う「家庭教育支援チーム」の文部科学省への登録数や家庭教育サポート企業の締結企業数を増加させることで、家庭教育支援の体制構築を進めることができた。さらに、「子ども相談支援センター」の電話相談について、電話相談員の資質向上のために計画的な研修を行うなど、家庭教育を支援する環境づくりを推進することができた。

[施策の推進状況]

【P】・・・「Plan 令和4年度の主な施策」 【D】・・・「Do 主な取組の状況」
 【C】・・・「Check 施策の課題」 【A】・・・「Action 今後の方向」

《課題・背景》	<p>(1)家庭教育に関する学習機会の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 望ましい生活習慣の定着に関わり、テレビを見たり、ゲームをする時間が長いこと、毎日朝食を食べている児童生徒の割合が小・中学校のいずれも依然として全国と比べて低くなっている状況 子どもの望ましい生活習慣の定着に係る取組を支える人材の育成や、学校や地域における取組への指導助言が必要 <p>(2)家庭教育支援のための環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 市町村の家庭教育支援者が域内における家庭教育支援の方策を検討し、家庭教育支援に関する取組が十分でない状況 様々な理由により参加できない保護者に対する子育てや家庭教育に関する学習機会や情報の提供が不足している状況 子ども相談支援センターにおける教育相談は計画どおり実施しているが、相談対応の充実を図るため、相談員の資質向上が必要
---------	---

(1) 家庭教育に関する学習機会の充実	
[P]	<p>①子どもの望ましい生活習慣・学習習慣確立のための意識啓発を実施</p> <p>②「子どもの望ましい生活習慣・学習習慣定着研修事業」を実施</p> <p>③「子どもの望ましい生活習慣・学習習慣定着フォーラム事業」を実施</p>
[D]	<p>①生活習慣や学習習慣確立に向けて、親子参加型イベントや保護者が集まる研修会など、より多くの機会を捉え、保護者向けリーフレットやPTAの実践事例集を活用した広域的な普及啓発の実施</p> <p>②・PTA等と連携協働して、「子どもの望ましい生活習慣・学習習慣定着研修事業」を14管内で実施（6～2月、1,999名参加）</p> <ul style="list-style-type: none"> 家庭教育ナビゲーターや家庭教育サポート企業からの参画を得た交流会を開催し、生活習慣や家庭習慣の定着に向けた取組の理解促進（全道14か所、305名参加） 家庭教育を支援する方々向けに最新の学習資料提供 <p>③社会教育関係団体に委託して、「子どもの望ましい生活習慣・学習習慣定着フォーラム」を開催することで、広域的な取組に向けた機運醸成（11月及び2月、地域住民及び保護者、86名参加）</p>
[A]	<p>①リーフレットを活用して、PTA等が主催する研修会や家庭教育支援者が集う機会を活用した普及啓発に取り組むとともに、家庭教育サポート企業等に対する普及啓発の働き掛けを強化</p> <p>②関係課や道PTA連合会等と連携した全道各地における取組の強化に努めるとともに、望ましい生活習慣・学習習慣の定着に向けた取組の重要性について、家庭教育支援に携わる人材を対象とした研修会で取り上げるなどして、全道各地の取組を促進</p> <p>③全道各地で行われる社会教育関係団体等が行う各種取組に対しては、今後も支援を継続</p>
(2) 家庭教育支援のための環境づくり	
[P]	<p>①全ての保護者が安心して家庭教育を行うことができる支援体制の構築のため、「地域における家庭教育支援基盤構築事業」を実施</p> <p>②「子ども相談支援センター」の電話相談について、国へ財源措置を要望するなど相談体制の充実を図るとともに、計画的に相談員研修を実施し、相談員の資質向上を促進</p>
[D]	<p>①総合的な家庭教育支援の在り方や成果の検証を行う「家庭教育推進協議会」を設置するとともに、支援者の資質向上を図るためにオンライン形式の「家庭教育支援者養成研修」（54名参加）を実施し、その内容をYouTubeで配信して、家庭教育支援体制を構築（家庭教育支援チームの文部科学省登録9→14団体）</p> <p>②・「子ども相談支援センター」における教育相談を年間（24時間対応）を通して実施（電話相談2,354件、メール相談376件、来所相談2件）</p> <ul style="list-style-type: none"> 電話相談員の資質向上を図るため「電話相談員研修」を複数回実施し、困難な相談事例に対応（講師を招いた研修1回、講師を招かない研修1回）
[A]	<p>①家庭教育ナビゲーターの資質向上に向けて、「家庭教育ナビゲーターハンドブック」を改定するほか、家庭教育支援チームの設置を促進するとともに、登録したチームに対する支援を強化するため、地域における「家庭教育支援基盤構築事業」を引き続き実施</p> <p>②・「子ども相談支援センター」の電話相談について、引き続き国へ財源措置を要望するとともに、相談窓口の周知の取組を継続</p> <ul style="list-style-type: none"> 電話相談員の研修に係る予算を確保し、講師を招いた研修の回数を増やすとともに、電話相談員が研修に参加しやすい環境を整備することなど、研修機会を確保する取組を促進

[指標の状況及び評価]

指標の内容	基準値	目標値（上段）						進捗率	評価	出典 (調査名等)	実施 主体	調査期 日又は 調査対 象期間	指標の 対象	
		実績値（下段）												
		(H29)	(H30)	(R元)	(R2)	(R3)	(R4)							
① 「普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらい の時間、テレビゲーム(コンピュータ ゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やス マートフォンを使ったゲームも含む)をし ますか」という質問に対して、「2時間以 上」と回答した小学校6年生、中学校3年 生の割合(%) 【全国学力・学習状況調査】	小	(H29) 38.0	(全国) 31.1	-	-	(53.0)	56.0	57.8	一	(参考) 全国平均 及び前年 度比較の 両方とも 上回る	全国学力・学 習状況調査	文科省	R4.4.19	公立小・ 中学校の 児童生徒 (小6・ 中3)
	中	(H29) 43.1	(全国) 37.6	-	-	(49.4)	64.1	55.0	一	(参考) 全国平均 は上回っ たが前年 度との比 較では下 回る				
② 「毎日、同じくらいの時刻に寝ていま すか」という質問に対して、「寝ている」又は 「どちらかといえば、寝ている」と回答し た小学校6年生、中学校3年生の割合(%) 【全国学力・学習状況調査】	小	(H29) 79.7	79.7	77.0	81.5	(80.4)	81.4	81.5	81.5%	c	全国学力・学 習状況調査	文科省	R4.4.19	公立小・ 中学校の 児童生徒 (小6・ 中3)
	中	(H29) 74.9	74.9	73.0	77.4	(79.4)	79.2	79.1	79.1%	d				
③ 「北海道家庭教育サポート企業等制度」に登録して いる企業数		(H28) 2,262	2,359	2,424	2,564	2,570	2,646	2,875	95.8%	b	北海道家庭 教育サポ ート企 業等制 度登録 簿	道教委	R4年度末	協定締結 企業
④ 「家や図書館で、普段(月～金曜日)、1日 どれくらいの時間、読書をしますか」とい う質問に対して、「10分以上」と回答した小 学校6年生、中学校3年生の割合(%) (再掲) 【全国学力・学習状況調査】 (本掲は、「施策項目10」)	小	(H29) 60.9	60.9	62.8	63.0	(57.5)	57.6	57.1	81.6%	c	全国学力・学 習状況調査	文科省	R4.4.19	公立小・ 中学校の 児童生徒 (小6・ 中3)
	中	(H29) 53.3	53.3	55.3	50.9	(46.2)	48.8	48.4	69.1%	d				
⑤ 「朝食を毎日食べていますか」という質問 に対して、「食べている」と回答した小学 校6年生、中学校3年生の割合(%) (再掲) 【全国学力・学習状況調査】 (本掲は、「施策項目15」)	小	(H29) 84.4	84.4	81.8	84.0	(81.6)	83.7	81.5	81.5%	c	全国学力・学 習状況調査	文科省	R4.4.19	公立小・ 中学校の 児童生徒 (小6・ 中3)
	中	(H29) 81.4	81.4	77.9	80.8	(78.3)	80.0	77.4	77.4%	d				
評価結果		(a) 指標数	(b) 指標数	(c) 指標数	(d) 指標数	定量評価		C						
		0	1	3	3									
新型コロナウイルスの影響により実績値が伸び なかった指標又は低下した指標に対する今後 の取組														
d評価に対する今後の取組	②④⑤ 関係機関、団体、サポート企業との更なる連携により、保護者に対する生活習慣と学習習慣の定着に向けた取組を強化す るとともに、各種施策の見直しを実施													